

研修会報告

平成 31 年 1 月 27 日

文責： 宮坂智充

研修会テーマ「基礎から教えます！薬剤感受性結果の読み方・考え方」

開催日時 平成 31 年 1 月 26 日（土） 13：30～17：00

会場 東北大学 医学部保健学科 大講義室

司会 東北医科薬科大学 宮坂智充

生涯教育点数 20 点

参加者 会員参加者 63 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 2 名 学生 0 名
合計 66 名

講演 1 「感染症治療に用いられる抗菌薬の体内動態と薬剤特性について」

宮城県立がんセンター 薬剤部 鈴木 義紀 先生

講演 2 「グラム陽性菌の感受性パターンと耐性パターン：実際の運用を含めて」

石巻赤十字病院 検査部 尾池 泰典 先生

講演 3 「グラム陰性菌の感受性パターンと耐性パターン：実際の運用を含めて」

東北大学病院 検査部 勝見 真琴 先生

17:00 終了

18:00～20:00 情報交換会開催

内容

微生物検査初心者から中級者を対象に、薬剤感受性試験結果の読み方・考え方のポイントについて 3 名の演者の先生にご講演頂いた。日常業務において、先輩技師から教わることが充分できない県内施設の会員より、薬剤感受性結果の読み方に関する研修会を開催してほしいという要望があったことから、同研修会が企画された。20 歳代と 30 歳代を中心に、60 名を超える県内会員の皆様と、青森県技師会の会員の方に参加して頂いた。

講演 1 では、薬剤師の先生より、PK/PD 理論や抗菌薬薬物動態について教えて頂いた。加えて、感染症治療における薬剤師と臨床検査技師の協働の重要性を症例を交えながら学んだ。講演 2 と講演 3 では、実際の薬剤感受性結果を読み解きながら、追加検査の重要性や、臨床側への注意喚起などの実務における気づきのポイントに絞って、分かりやすく教えて頂いた。

アンケートに解答した 8 割以上の参加者から、研修会全体を通して満足したとの回答を得ることができた。今後とも県内会員の要望を伺いながら研修会を企画したい。

研修会後には情報交換会を開催し、県内外の若手の微生物担当検査技師を中心に 20 名が集まった。県内および県外の微生物検査担当技師のネットワークづくりの場を提供することが出来た。